

2025 ～ 2026 年度国際ロータリーのテーマ

U N I T E F O R G O O D

●会長 堤 勝也
●幹事 草村安宏

 No.1919 令和 07 年 10 月 29 日 第 15 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


よいことの
ために
手を取りあおう

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング

「それでこそロータリー」

(ソングリーダー 古田哲朗)



■来訪者紹介

(会長 堤 勝也)

卓話者

火の国サラマンダーズ

代表取締役 野島雄大 様



■会長の時間

(会長 堤 勝也)

本日の「会長の時間」は先週の台湾でのサイクリングイベントに参加した際のお話です。

先週の例会はお休みをいただきまして、中島さん、彌富さんと共に台湾へ行ってきました。おかげさまで無事に帰ってきましたが、初日から少しハプニングがありまして（笑）、サイクリング中坂道の下りで転んでしまいました。現地の皆さんにも大変ご心配をおかけしましたが、そのおかげで一躍、名前と顔を覚えていただくきっかけにもなりまして、結果的には良い宣伝になったかなと思っています。

出発前は「なかなかハードな行程になるかもしれない」と覚悟していましたが、実際に行ってみると本当に大変でして……。私は体重が90キロを超えているので、移動は電動アシスト自転車だったのですが、他の2名の方よりもバッテリーの減りが早く、常に残量を気にしながら孤独な戦いを3日間続けることになりました（笑）。

ただ、苦しい中にもたくさんの感動がありました。3日間、毎晩のように23テーブルを囲んで食事が開かれ、台湾の方々の明るさとエネルギーに圧倒されました。物価の違いもありますが、どの会場も本当に盛り上がっていて、昼のサイクリングと夜の親睦の両面でとても充実した時間を過ごすことができました。

特に、転倒して足を痛めていた私のところに、知らない台湾の方々が次々と「大丈夫ですか？」と声をかけてくださって、その優しさと温かさに心を打たれました。人の思いやりを身をもって感じる旅でもありました。

私たちはこれまでも姉妹クラブとの交流を通して行き来を続けていますが、今回のような地区単位のイベントはまたスケールが違い、とても新鮮でした。普段なかなか経験できない規模の活動に参加でき、改めてロータリーの広がりを感じました。こうした国際交流は、刺激にもなり、自分たちの活動を見つめ直す良い機会にもなりますね。

向こうで感動のあまり「来年も来ます！」と口にしてしまいました（笑）。参加者の中で日本人は私たち3名だけでしたので、やはり少し寂しくもありました。ですので、次回は熊本東南クラブからももう少し多くのメンバーで参加して、できれば“ワンテーブルを熊本で埋める”くらいの勢いで盛り上げたいと思っています。

その際はぜひ皆様のご協力をお願いしたいと思います。短い時間ではありますが、これをもって本日の「会長の時間」とさせていただきます。ありがとうございました。

■幹事報告

(幹事 草村 安宏)



■来信案内

1)
和歌山東南RCより、熊本訪問のお礼。

2)
熊本水前寺公園RCより、創立25周年記念例会・祝賀会のお礼。

■クラブより

1)
次週11月5日（水）は休会です。（祝日が含まれる週のため）

■今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2025年 11月08日(土)	RLI パートⅡ	熊本県 熊本市	熊本市民会館 大会議室	案内中
11月19日(水)	第2回熊本市域RC 会長・幹事会	熊本県 熊本市	メルパルク熊本	案内中
11月30日(日)	熊本西RC 創立40周年 記念シンポジウム並びに 記念式典・祝賀会	熊本県 熊本市	熊本市民会館 大会議室	案内中

■ 表彰

マルチプルポールハリスフェロー（3,000 ドル）記念ピンの贈呈 （彌富照皇 会員へ）



■ ロータリー情報の時間

（ロータリー情報担当委員 白木誠一）

「復活したトランプの世界戦略」

皆さん、こんにちは。

本日のロータリー情報の時間は、少し異色なテーマかもしれませんが、「復活したトランプの世界戦略」という内容でお話しさせていただきます。



実は、8月に取り上げた話題の続きを

気になっておまして、少し“抜け駆け”して（笑）皆さんに共有したいと思います。本日は時間の都合もありますので、全部ではなく一部抜粋という形になります。少し前後する部分もあるかもしれませんが、その点はご容赦ください。

さて、ロータリーの会員の皆さんは経済人の方も多く、日ごろから物価や世界経済の動向に関心をお持ちかと思います。世界情勢を正しく理解し、自分の考えを持つことは大切です。今日は、トランプ前大統領を中心に、その背景にあるアメリカの動きを少し掘り下げてみたいと思います。

メディアではトランプ氏が「異端児」として扱われることが多いのですが、実はアメリカの250年の歴史の中で見ると、彼は決して少数派ではなく“マジョリティ=多数派”に属する存在なのです。アメリカの歴史は、徳川将軍が15代続いた江戸時代よりも短いわけですから、国としての成熟度という点ではまだ形成途上にあります。その中で「自国の国益を第一に考える」という姿勢は、アメリカにとってごく自然な考え方だといえるでしょう。

つまり、トランプが掲げた“アメリカ・ファースト”は、単なるスローガンではなく、これまでの大統領が建前上避けてきた「本音」を明確に打ち出したものと捉えることもできます。ある国際記者・高橋氏の話では、「トランプの政治手法は、一種の経営者の発想であり、企業のリーダーが自社を守る感覚に近い」とも言われています。

では、なぜトランプは再び当選の可能性を持っているのか。

その背景の一つとして、現バイデン政権がイスラエルに対して武器や爆弾を継続的に供与してきたことがあります。これに反発した中東・アラブ系の人々が民主党離れを起こし、「今回は共和党に投票する」と考えるようになった。そうした層の票を取り込んだことが、トランプ支持拡大の一因と見られています。

この問題の根底には、イスラエルとパレスチナの対立があります。パレスチナ自治政府の中でも穏健派のアッバース議長派と、強硬派のハマスとの対立が続いており、そこにシリアのアサド政権、さらにロシアやイランといった国々の関与が複雑に絡んでいます。ウクライナ戦争の影響で、アサド政権を支えていたロシアの支援が滞り、シリア情勢が不安定化した中で、トランプが和平交渉を進めたことは一つの転機になったとも言われています。

また、第二次世界大戦の歴史を振り返っても、ヨーロッパの戦いにおいてはソ連（当時）が多大な犠牲を払いました。アメリカ軍の戦死者が約20万

人といわれるのに対し、ソ連軍は2000万から3000万人が犠牲になったとされます。そうした歴史的背景が、今なおロシアの国民性や外交姿勢に影響しており、「戦争は終わっていない」という認識を持つ人が少なくありません。

現在、トランプが特に注目している国の一つにマレーシアがあります。マレーシアでは、半導体やエネルギー関連産業の製造が活発で、世界経済における重要な生産拠点となりつつあります。

その中で、日本企業の出資も増えています。たとえばソフトバンク、日本製鉄、トヨタ、住友化学といった企業が積極的に関わっており、資本と安全保障の観点からも非常に注目される動きです。

株式投資の視点から見ても、今後2～3年はこうした分野にチャンスがあると考えられます。一方で、地政学的リスクや資本安全保障の不安もあり、単純な経済期待だけでは見通せない複雑な時代になっていると感じます。

本日は時間の関係で一部のみのご紹介となりましたが、世界情勢を俯瞰しながら、私たち一人ひとりが「情報をどう読み解くか」を考えるきっかけにいただければ幸いです。

■ 委員会報告

（姉妹クラブ担当委員長 緒方公一、小畑成司 会員）



和歌山東南 RC55 周年記念行事について（参加アンケート）

2026年4月9日（木）～2泊（帝国ホテル大阪／DEL style 大阪東天満）

■ 委員会報告

（姉妹クラブ委員会 彌富照皇）





■出席報告

(出席・プログラム担当委員長 渡邊俊一郎)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
10月22日	39 (免2) 37	20 (ZOOM0)	10	30	81.08
10月29日	39 (免2) 37	27 (ZOOM0)	-	-	72.97

☆出席免除

10月22日・29日 島村徹男 志賀重人

★欠席者

10月22日 7名 平城大海 川崎直樹 前田日出夫 西田智史 潮谷愛一 武末直大 山本浩之

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員長 片岡貞志)



◎堤勝也 5,000 円

皆様の応援のおかげで無事？に帰国することができました。貴重な体験ができました。ありがとうございました。

◎内田信行 5,000 円

堤会長、中島会員、彌富会員、3490 地区サイクリングイベント参加大変だったと思います。大成功で終わられたと思います。自転車での毎日 100 km、毎晩の酒の接待と、考えたらぞっとします。本当に心よりお疲れ様でした。



◎沼田敏雄 5,000 円

健康スマイル。



◎宮川義行 5,000 円

火の国サラマンダーズ 野島雄大様のご来訪を歓迎します。卓話楽しみにしています。堤会長、彌富会員、中島会員、台湾 3490 地区ポリオ根絶サイクリング参加、お疲れ様でした。しっかり休養をとってください。先週は米山月間卓話を、米山学友山野イミン恵さんをお願いいたしました。米山奨学生で良かったとの思いがあふれた素晴らしい卓話だったと思います。山田会員がガバナー補佐を引き受けることになって代理で引き受けた地区の米山委員でしたが、多くの奨学生や学友と出会い、仲良く付き合ってくれたことに感謝をしています。ロータリーを陰で支える地区活動に、多くの皆さんの参加をお願いして、スマイルします。



◎松本繁 3,000 円

堤会長、中島会員、彌富会員の台湾サイクリングイベント参加完走の快挙に敬意と労いの気持ちを込めてスマイルいたします。大変お疲れ様でした。



◎小野川善久 2,000 円

台湾において、会長はじめ大活躍された会員の皆様、無事に帰ってこられて安心いたしました。お金がない、体力がない、時間がない、「3 ない」の私にはうらやましい限りです。いつか私も…と思っていますが、150%無理です。余生は静かに暮らした方がよいのでしょうか？さびしい限りです。



◎草村安宏 2,000 円

火の国サラマンダーズ 野島様のご来訪を歓迎いたします。今日は卓話を楽しみにしています。台湾一周サイクリングに参加された皆様、大変お疲れ様でした。



■卓話

演 題：「火の国サラマンダーズと私」

卓話者：火の国サラマンダーズ 代表取締役 野島雄大 様



【私たちと一緒に野球で熊本を盛り上げませんか？】

私の原動力は熊本をより良い街にしたいという想いです。きっと皆様も同じような考えで地域のために活動されていると思います。スポーツの力で、野球の魅力を活用して熊本のために活動が続けて参ります。ぜひ、皆様のお力をお貸しください！いつでもご連絡お待ちしております。

代表取締役社長 野島雄大

応援企業募集

3万円よりご案内しております。御社に合わせた様々な応援パターンをご案内いたします。お気軽にお問い合わせください。

野島雄大電話番号
【080-4699-5055】

熊本発の独立リーグ球団「火の国サラマンダーズ」を、どう“地域の力で”育てていくかー野島代表が自身の歩みと球団運営の現在地、これからを語られました。

はじめに（配布物のご案内）

当日は「冊子」と「報告書」を配布。冊子は崇城大学デザイン学科の学生が制作に協力し、独立リーグに関わる人々の想いや舞台裏を伝える内容。「独立リーグを知るきっかけに」と紹介されました。ワールドシリーズの大谷選手のエピソードにも触れ、ファンと選手の関係性の尊さを共有。

自己紹介と原点

1984年熊本生まれ。少年時代は野球、中高で主将も務めるが肩のケガで競技転向し、ボートで全国大会へ。大学時代、友人らと**タビオカ店「タビキング」**を創業。のちに家業（清掃資材卸「山屋」）で代表を務める。東日本大震災・熊本地震を契機に「自分の力で社会に貢献したい」との想いが明確に。熊本城石垣修復の基礎を学ぶ研修にも参加。自身のやりたいことに専念するため、家業はM&Aで承継。以降、スポーツ×地域の道へ。

サラマンダーズとのご縁ー代表就任まで

中学野球の先輩でもある前代表・神田氏の球団立ち上げに伴走。球団ロゴ・マスコット・ユニフォーム・バス等のデザイン、記者会見運営などで支援を拡大。神田氏の転身を機に2024年5月、代表取締役に就任。就任直後は監督不在・戦力再編など難局のかじ取りから着手。守護神・馬原孝浩氏に相談し、補強と体制立て直しを断行。

独立リーグの位置づけと戦績

国内外に約30球団。サラマンダーズは九州アジアリーグで年間約65試合を戦う。5シーズンでリーグ優勝4回、日本一2回。2025シーズンは49勝13敗（勝率9割）で優勝。

地域貢献とアジア連携

年間100件超の地域活動（2025年は114件）：野球教室、施設訪問、農業支援など。台湾との交流を強化。在福岡の台北駐福岡弁事処や楽天モンキーズ等との連携、社会人リーグとの交流戦、元所属投手の台湾派遣など人材・興行の往来を推進。

これから（球場・リーグ拡大への備え）

新球場構想：県のアリーナ整備に続く優先課題として野球場再整備が狙い。菊陽町が有力候補地の一つ。NPB拡張の機運（王貞治氏が4球団増を示唆：新潟・静岡・九州・四国案）に備え、組織・興行面を強化。夏の酷暑対策として藤崎台球場で日傘1,000本配布など、観戦環境の改善も継続。

結び（呼びかけ）

「野球で熊本をもっと元気に」。その思いで球団運営を続けています。本日报布の資料には代表直通の連絡先も記載。協働のご提案や地域イベントのご相談など、ぜひお声がけください。ご清聴、誠にありがとうございました。

■点鐘

（編集 松尾 浩）

～ ポリオ根絶募金運動 ～

国際ロータリー第2720地区 熊本第3グループ・第4グループ合同

実施日：2025年11月1日（土）

／会場：新市街アーケード・下通アーケード

11月1日（土）、国際ロータリー第2720地区 熊本第3グループ・第4グループによる「ポリオ根絶募金運動」が、新市街・下通アーケード一帯で実施されました。



熊本東南ロータリークラブからは14名の会員が参加。

午後2時から4時までの2時間、通行される皆さまに声をかけながら、ポリオ根絶のための募金を呼びかけました。

会員たちは「END POLIO NOW」の赤いTシャツを身にまとい、アーケードの通りに一列に並んで活動。

明るい笑顔と元気な声かけで、街中に温かな空気が広がりました。

多くの市民や観光客の皆さまが足を止め、募金にご協力くださいました。その中には、ロンドンのロータリークラブに所属するご婦人の姿もあり、旅行中にもかかわらず募金にご参加くださいました。

カタコトの英語と日本語、そしてAIの通訳サポートを交えたやりとりの中で、ロータリーの友情と国際的な絆を感じる心温まるひとときとなりました。

世界では、ポリオ（小児まひ）が残る国はほんのわずかでず。

ロータリークラブは、長年にわたりこの根絶活動を世界中で続けてきました。

熊本の街からも、その大きな流れの一端を担えたことに感謝いたします。本日ご協力いただいたすべての皆さまに、心より御礼申し上げます。

これからも私たち熊本東南ロータリークラブは、「ポリオのない世界」を目指して、活動を続けてまいります。

11月2日（日）に開催された

親睦パークゴルフ・BBQについては次週号にてお知らせします。